

# 使用手引書

## 【指導案タイトル】

小4算数（面積の単位換算）指導案

## 【対象】

面積の単位換算がよく分からず、コツを知りたい小4以上の生徒

## 【内容】

面積の単位換算という、日常生活でなじみのない単元を理解しできるようにするため、0の数をどれだけ増減するかにしぼって教える。考えすぎて混乱することなく、正確に答えられるようにする。

## 【特徴】

長さの換算（ $\text{cm} \cdot \text{m} \cdot \text{km}$ ）と面積の換算（ $\text{cm}^2 \cdot \text{m}^2 \cdot \text{a} \cdot \text{ha} \cdot \text{km}^2$ ）が組み合わせられると混乱しやすい。特に  $\text{a} \cdot \text{ha}$  は日常生活でなじみがないため、間違いが起こりやすい。この指導案では、特にわかりにくいこの  $\text{a} \cdot \text{ha}$  から  $\text{m}^2$  への換算にしぼり、 $\text{a} \rightarrow \text{m}^2$  は 00 をつける、 $\text{ha} \rightarrow \text{m}^2$  は 0000 をつけるといった、ゼロをつける数のみに焦点を絞って指導する。

## 面積の単位換算の解説の例

1 mは、どのくらいかわかるかな？（手でしめす）。

1 m×1 mは、だいたい大きめのつくえぐらいの広さだね。これを1平方メートルというよ。

10 m×10 mは、教室ぐらいの広さだね。これは1アール、というよ。

100 m×100 mは、大きめの運動場ぐらいの広さになるね。これは1ヘクタール、というよ。

教室ぐらいの1アールは、つくえが何個ぶん、ならぶだろう？

運動場ぐらいの1ヘクタールなら、つくえは何個ぶん、ならぶだろう。

アールは、00 をつけると、 $\text{m}^2$  になる。これにつくえ何個分か、わかるよ。1アールなら100 $\text{m}^2$ だ。つくえは100個ならぶね！

ヘクタールは、0000 をつけると、つくえ何個分か、わかるよ。1ヘクタールなら10000 $\text{m}^2$ だ。つくえは10000個ならぶね！

以上